

業務概要

1. 事業目的

- ・片平団地、星陵団地、青葉山1団地の以下建物において、既設空調設備（GHP）を老朽化と機能改善を目的とした空調設備（EHP）への改修及び電源増設（受変電設備を含む）の設備設計を行うものである。

(片平団地)

・プロジェクト総合研究棟	(2009年度設置 RC-5	5,732 m ²)
・インテグレーション教育研究棟	(2011年度設置 RC-5	9,183 m ²)
・インテグレーション・ラボ棟	(2009年度設置 RC-5-1	9,036 m ²)
・多元研反応化学研究棟1号館	(2008年度設置 RC-4	5,034 m ²)

(星陵団地)

・加齢研実験研究棟	(2008年度設置 SRC-9-1	6,636 m ²)
・プロジェクト総合研究棟	(2001年度設置 RC-5-1	6,720 m ²)
・歯学部臨床研究棟	(2011年度設置 SRC-8-1	13,230 m ²)

(青葉山1団地)

・学際科学フロンティア研究所A棟	(1996年度設置 RC-3	2,505 m ²)
・学際科学フロンティア研究所B棟	(2002年度設置 RC-3	3,227 m ²)
・化学・バイオ系実験研究棟	(2002年度設置 RC-6	5,734 m ²)

2. 事業規模等

- ・事業名称：東北大学（片平・星陵・青葉山1）空調設備等改修
- ・建物用途：大学（学校）
- ・構造規模：上記参照
- ・整備諸室：各室・電気室・屋上設備機器 等・・・・・・適宜（別紙参照）

3. 基本整備方針

- ・既存空調設備（GHP）の老朽化による機器更新及び機能向上を目的とした施設整備を行う。
- ・空調設備（EHP）への更新によるランニングコスト低減を図るための検討を行う。

4. 改修設計に当たっての留意事項

本業務の実施に当たっては、次のことに留意し、検討を行うものとする。

(1) 機能改善に関する改修設計上の留意事項

- ・現地調査を十分に行い、提出する過去工事図面との相違を確認し、監督職員に報告すること。上記を踏まえ、既設設備等の取り合い、パイプスペースでの調整を行うこと。
- ・工法及び使用材料の選定に当たっては、工事期間とコスト縮減に配慮するとともに、恒久的施設に求められる機能が確保可能なものを選定すること。
- ・上記の留意事項に配慮するとともに、全体として、工期短縮とライフサイクルコストを含めたコスト縮減に配慮した設計とすること。

(2) 外壁・屋根・内部改修に関する設計上の留意事項

- ・施工中の建物使用者の安全性を確保するとともに、騒音、振動、粉じんの発生を抑制するなど、建物使用上の機能等に与える影響を最小限にすることが可能で、かつ、できる限り建物を使用しながら施工が可能なよう、工法等の検討に当たっては留意すること。
- ・上記の留意事項に配慮するとともに、全体として、コスト縮減に配慮した設計とすること。

(3) 工事に関する設計上の留意事項

- ・工事発注予定にあわせた設計図面作成について発注者への協力を行うこと。
- また、以下の図面及びCADデータを東北大学より、提供するものとする。

① 図面（CADデータ）

（片平団地）

- ・プロジェクト総合研究棟，インテグレーション教育研究棟，インテグレーション・ラボ棟建設時の完成図面
- ・多元研反応化学研究棟1号館改修（空調設備設置）時の完成図面

（星陵団地）

- ・加齢研実験研究棟，プロジェクト総合研究棟，歯学部臨床研究棟改修（空調設備設置）時の完成図面

（青葉山1団地）

- ・化学・バイオ系実験研究棟改修（空調設備設置）時の完成図面

② 図面（PDFデータ）

（青葉山1団地）

- ・学際科学フロンティア研究所A棟，B棟建設時の完成図面